

東北福祉大学において 「学生との年金対話集会」を開催しました

厚生労働省年金局では、大学生の皆さまと年金局職員が年金について語り合う「学生との年金対話集会」を各地の大学で開催しています。

年金対話集会は、「年金制度を理解していただくこと」、「ご自身の年金について一緒に考えていただくこと」及び「意見や指摘を今後の年金行政に活かすこと」を目的としています。

令和7年10月14日に東北福祉大学国見キャンパスにおいて、東北福祉大学、厚生労働省年金局、東北厚生局の三者による合同イベントとして、年金対話集会を2部構成で開催しました。

第1部は全体講義として年金局職員が年金制度に関する説明を行いました。



第1部 全体講義の様子

第2部では2つのグループに分かれ、年金局及び東北厚生局職員を交えた座談会形式による質疑応答を行い、第1部の説明及び学生が普段から年金制度について感じていることや疑問について語り合いました。



第2部 座談会の様子

ご参加いただいた学生の皆さまの中には、将来、社会保障関係の仕事を希望する方も多く、年金制度の講義を真剣に受講する姿や座談会においても疑問や意見を積極的に発言する姿勢が印象的でした。当局としても、参考となる意見を聞くことができ大変有意義な時間でした。

ご参加いただいた東北福祉大学の学生の皆さま、ご協力いただいた先生、どうもありがとうございました。